

2022年9月15日

## 北九州市が発行する「サステナビリティボンド」への投資について

テラダ産業株式会社(代表取締役社長 緑川 順一、以下「当社」という)は、このたび、北九州市が発行するサステナビリティボンド(第2回北九州市サステナビリティボンド10年公募公債(北九州市SDGs未来債)、以下「本債券」という)への投資を決定しましたので、お知らせします。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の用途が、環境改善効果があること(グリーン性)及び、社会的課題の解決に資するものであること(ソーシャル性)の双方を有する債券です。

本債券は、ICMA(International Capital Market Association/国際資本市場協会)が定義する「ソーシャルボンド原則2021」、「サステナビリティボンドガイドライン2021」、「グリーンボンド原則 2021」及び対象事業のグリーン性に関しては「環境省グリーンボンドガイドライン2020年版」に適合する旨、株式会社格付投資情報センター(R&I)からセカンドオピニオンを取得済みです。

本債券の発行による調達資金は、洋上風力発電関連事業、豪雨災害から市民を守るための防災対策事業、災害廃棄物処理への対応、自然環境の保全、公共施設の更新・改修、子育て・教育環境の整備等の事業に充たされ、国連の持続可能な開発目標(SDGs)<sup>(1)</sup>の達成にも貢献します。

当社は、本債券を始めとしたSDGs債への投資を継続的に実施することで、今後も環境及び社会の課題解決につながる事業やSDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、社会的責任を果たして参ります。

### <本債券の概要>

銘柄	第2回北九州市サステナビリティボンド10年公募公債(北九州市SDGs未来債)
年限	10年
発行額	100億円
発行日	2022年9月15日

(1) 持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

以上